

進路支援部より、保護者の皆さんに進路に関する情報等を、不定期でお伝えしていきます。キャリア教育について小学部のうちから、将来社会に出ていくことを見据え、育てたい将来につながる力についてお伝えします。また、学校で実践している内容等についても今後紹介します。

☆伝える力☆

今号では、『伝える力』について紹介します。**伝える力=コミュニケーションの手段**です。学校生活はもちろん、卒業後社会に出た際に、支援者の方や、一緒に働いたり過ごしたりする仲間と関わることになります。集団生活の中で必要とされる、育てたい力を紹介します。

【挨拶をする力】

「おはようございます」「お願いします」「ってきます」「失礼します」「ありがとう」「ごめんなさい」等

挨拶の例(おはよう)	自分から丁寧に挨拶する	言葉で自分から挨拶する
支援者と一緒に挨拶する	挨拶をされたら挨拶を返す	挨拶ににこりと返す
手を軽く上げる	ペコリと会釈をする	相手にタッチで応える 等

- ・今できることに応じて、目指す挨拶は異なります。**相手に伝わること・伝えようとするのが大切です。**
- ・挨拶は、円滑なコミュニケーション、人間関係を築く力の第一歩です。毎日繰り返し行っていくことで、挨拶をするべき場面、挨拶の仕方について覚えていくことにつながります。周囲の大人が率先して言うことも、目指すべき姿の気づきになります。
- ・小学部では、トイレに行く際など教室から出るときは、ドアで立ち止まって「トイレに行ってきます。」とクラスの友達・先生に言うようにしています。はじめは教師と一緒に言うようにし、繰り返すことで、自分から挨拶(相手に伝える)の習慣が身につくことを目指しています。



【はい／いいえ、好き／嫌い、承諾／拒否を伝える力】

- ・言葉や、表情、うなずき、首振り、指差し、サイン、カード等で、伝える力です。
- ・いろいろな場面で自己決定をすることにつながります。「自己決定をする→相手に伝わる」経験を繰り返すことで、**自信につながり、伝えよう!と思えることにつながります。**
- ・そのような表出があることを、家族以外に関わる様々な人に伝えておく(伝えられるように定着していると)、支援者が気持ちを読み取り対応することにつながります。気持ちが伝われば問題行動をおこさないことにつながります。



【「手伝って」「助けてください」と周囲に助けを求める力】

- ・困ったときに助けをもとめる力が必要ですが、なかなか表出が難しいことが多いです。また、自分が困った状態であることをわかっていないこともあります。言葉や、サイン、絵カード等で「伝わった」成功体験を繰り返すことで、自分から助けを求められることが増えていきます。
- ・こちらも積み重ねが大切です。はじめは困っていることに気付いたら、少し様子を見て声を掛けます。すぐ手伝ってしまうのではなく、何をしてほしいか、手伝ってほしいか、を尋ねます。手伝うことになったら、本人がやりたいことにつながるように少しだけ手伝い、最後は自身で行い、成功体験を重ねることで、次も困ったら頼ってみよう!という前向きな気持ちにつながります。
- ・また、助けを求めすぎる(=できることなのに人を頼ること)も、自身の力を高めるためによくありません。どの段階まで手伝い、どの段階までは自分でさせるようにするのか見極めが必要です。自分でできる!と本人が思えるように、**日頃できていることでも繰り返し認める言葉掛けをすることも大切です。**